

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2018-143402(P2018-143402A)

【公開日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2018-036

【出願番号】特願2017-40146(P2017-40146)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/958 (2013.01)

【F I】

A 6 1 F 2/958

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月28日(2020.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血管内の所定位置に留置される管状の血管内留置具を拡張させる拡張用カテーテルであつて、

前記血管内留置具の内側に配され、拡張変形して前記血管内留置具を内側から径方向外側に押圧する拡縮部材を備え、

前記拡縮部材は、

複数の骨格用線材を有し、これら複数の骨格用線材は、前記拡縮部材が拡張変形した状態にて、周方向に互いに離間して前記血管内留置具に接触可能である拡張用カテーテル。

【請求項2】

前記拡縮部材の径方向外側に配設された介在部材を更に備え、

前記複数の骨格用線材は、前記介在部材を介して前記血管内留置具に接触可能である請求項1に記載の拡張用カテーテル。

【請求項3】

前記複数の骨格用線材は、前記拡縮部材が拡張変形した状態にて、前記血管内留置具の軸方向と略平行に延在する直線状部をそれぞれ有する請求項1又は2に記載の拡張用カテーテル。

【請求項4】

前記拡縮部材は、

前記直線状部を形成するように前記複数の骨格用線材を当該拡張用カテーテルの軸心側に付勢する付勢手段を更に有する請求項3に記載の拡張用カテーテル。

【請求項5】

前記拡縮部材が拡張変形する際の拡張量を調整する調整手段を更に備える請求項1~4のいずれか一項に記載の拡張用カテーテル。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するため、本発明の一の態様は、
血管内の所定位置に留置される管状の血管内留置具を拡張させる拡張用カテーテルであ
って、

前記血管内留置具の内側に配され、拡張変形して前記血管内留置具を内側から径方向外
側に押圧する拡縮部材を備え、

前記拡縮部材は、

複数の骨格用線材を有し、これら複数の骨格用線材は、前記拡縮部材が拡張変形した状
態にて、周方向に互いに離間して前記血管内留置具に接触可能であることを特徴としてい
る。